

# 農業委員会だより

編集・発行  
狛江市農業委員会  
狛江市和泉本町1-1-5  
☎03-3430-1111

## 平成二十二年度 宮中新當祭 献穀粟御播種祭



神主さんを先頭に



総勢60名の方々による行列



式典



ご近所の方々も見に来られました



収穫前の粟



神事が執り行われました

猪方地区 農家の小川健一さんの畑で開催されました。五穀豊穡を祈り、毎年、全国の農家代表から新穀を表から新穀を宮中等に奉納することが伝統として続けられ、一般民衆の間でも新しい穀物を神に供え、それを食べて収穫を祝う習慣がありました。

男性は烏帽子、白鳥姿、女性は早乙女姿の献穀奉耕者、JAマインズ組合長、農業委員会会長ら関係者約60名が参加され、また、厳正に執り行われました。



粟の種を植え付け



認定農業者になつて

三角 武久さん

認定農業者として、パイプハウス導入による減農薬栽培等農業経営改善計画の実現を目指すことはもちろんですが、新鮮で安全安心な野菜の直売や学校給食、スーパーへの販路拡大等、農業経営の多角化にも積極的に取り組み地域密着型の農業経営を行いたいと思います。今後は農業体験学習を通して自ら野菜を育て、食べ物を大切にする心を養い、食べ物の生産について学ぶ食育の場として農地を活用していきたいと考えております。さらに、農地を活用し環境保全や防災等、多面的機能を発揮する貴重な緑地空間を提供していきます。



認定農業者として

富永 和身さん

花の栽培を始めて35年。神奈川県の研究先で栽培のイロハから教えていただき、パイプハウスと露地からの出荷でした。後継者資金や近代化資金を借りて、順次、加温施設を増やし、折からの園芸ブームもあり、パートさんを雇い規模を拡大してきました。市場出荷が中心でしたが、当初から庭先売りや農協、緑化推進の即売にも力を入れてきました。10年程前から花も市場価格が低迷するようになりましたが、幸い農協の直売所もでき何とか経営を続けてくることができました。少量多品目、長期にわたる出荷が必要なため、何時も忙しい思いをしています。野菜、果樹の生産にも取組んでおり、出荷を待っていてくれる市民

のために、より良いものをお届けられるよう頑張っています。今後の経営を考える良いきっかけになると思い、認定農業者の申請をして、認めていただくことができました。



認定農業者制度とは、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が、自ら作成する農業経営改善計画を、農業基本構想に照らして認定し、その計画の達成に向けて支援を講じようとするものです。現在、狛江市内では10名の農業者が認定農業者として活躍しています。

平成22年度は、次の農業者の方に市長から認定証が交付されました。

松原地区	飯田 清孝さん
猪方地区	石井 恵司さん
	小川 保さん
	栗原 繁さん

ハクビシン 被害の集計

被害について (有29件・無71件)		野生動物の目撃 (有36件・無61件)		被害の防除 (無77件)		捕獲 (有2件・無88件)			飼育動物	
いつからか	2002年～2010年	いつからか	2000年～2010年	いつからか	2000年～2010年	いつからか	2009年	2009年	種類	犬11件・猫2件
被害の時期	5月～12月	いつ(何月)	1年中	いつ(何月)	1月～10月	いつ(何月)	1月	7月		
被害の量	少量～全て	目撃の場所	自宅の庭・物置、畑	材料・方法	ネット・金網・電線を張る	方法	バルサンをたく	溝の中に追い込み捕獲	飼育場所	自宅11件・小屋1件
食べ方の特徴	へたを残す・皮をはがし実だけ食べる・4条植えの外側を食べる	動物は何をしたか	歩いていた・寝ていた・住みついて	場所	畑・自宅	場所	天井裏	ゴルフ練習所		
被害を受けた支部	和泉・共栄・猪方・松原・小足立	目撃のあった支部	和泉・共栄・猪方・駒井・岩戸・松原	防除を行った支部	和泉・共栄・猪方・松原・小足立・寛東	結果	被害がなかった・効果なし	結果	効果なし	
被害作物の種類	トマト4件・トウモロコシ10件・落花生1件・ジャガイモ2件・イチゴ3件・キュウリ2件・柿2件・玄千舞1件・枝豆3件・ナス1件	動物の種類	ハクビシン22件・狸10件・鼠1件・野良猫1件・中型インコ1件・カラス1件						該当支部	和泉・共栄・駒井・松原・山谷・小足立

農業委員会では、平成22年2月に市内農家125件を対象にハクビシンの被害及び防除等についてアンケート調査を実施いたしました。

活動備忘録

農地パトロール実施



平成21年12月15日に農地法等の改正法が施行され、「農地について所有権又は貸借権その他の使用及び収益を目的とする者は、当該農地の農業上の適正かつ効率的な利用を確保するようにしなければならない。」が責務規定されました。(農地法第2条の2)そこで、「農地管理推進月間」を9月に設定して、日常的に農地パトロールを実施するとともに、農地の適正管理と無断転用の防止

を図るため、農業委員全員により、10件37筆の現況把握や啓発活動等農地利用状況調査を実施しました。おおむね良好な肥培管理が行われていたが、残念ながら果樹の選定が不十分であると思われる農地がありましたので地区担当農業委員の直接指導により改善されました。一部の方の不耕作が制度の存続にも影響してきます。是非、市民の方から農地として理解されるよう、適切な作物栽培と肥培管理をお願いします。

草生栽培導入

富永 和宏さん

日本ブルーベリー協会に加入している農業経営者情報交換会等の中で土壌の活性化、除草の省力化に伴う労力の軽減等、大きな期待が出来ることから、平成16年からブ



ルーベリー栽培にナギナタガヤ草生栽培を導入しました。そもそも、「ナギナタガヤ」は瀬戸内のミカン農家が偶然出会ったイネ科の草で果樹園に下草を生やす、下草は刈らない園地管理法です。春に生え6月上旬に自然

に倒れ、夏には枯れて敷き藁状態になった「ナギナタガヤ」は、地温の安定、保水は勿論そのまま堆肥の役割を果たします。

収穫ツアー開催

7月4日(日) 狛江市農産物直売会有志が、都内に出荷している飲食

店が企画した収穫ツアーに協力しました。当日は100人を超える参加者の4割近くが20〜30代の若者及び親子、参加するほとんどが畑で野菜を見るのは初めて、収穫の体験では用意されたビニール袋はすぐに一杯になりました。また、終了後は早速採りたての野菜を使ったランチに舌鼓をうっていました。身近な自然のもつ生命力に癒されました。土等とかに触れると気持ちが良い等大満足の様子でした。



食育レシピ  
とろっと  
あったか うどん

・材料

- 半生うどん
- ：240グラム(2人分)
- 市販のつゆ(2人分)
- 油揚げ：一枚
- 水溶性片栗粉：大さじ1
- おろし生姜
- 刻みネギ・一味：適宜

・作り方

- ①うどんを茹でヌメリが取れるまで水洗いをする
- ②油揚げを焼く
- ③うどんを湯通しして温め器に入れる(器をお湯で温めておくと冷めにくい)
- ④つゆに水溶性片栗粉でとろみを付け麺にかける。
- ⑤おろし生姜・刻みネギ・一味をお好みの量で盛りつける。

(本橋真弓さん)



おめでとう  
ございます

農業委員会が推薦した

平成22年度顕彰

### 受賞者紹介

企業的農業経営顕彰

東京都農業会議会長賞

石井 恵司さん



限られた農地を効率的に活用するため、露地野菜を主体としています。特に完熟出荷にこだわっているトマトが、消費者の人気、売上ともに高く、今後は近年の気候温暖化に対応した、さらなる高品質、高糖度の栽培を目指す等、農業経営改善計画を着実に推進している功績が認められました。

### 農業後継者顕彰

全国農業会議所会長賞

小町 友一さん



シクラメンや花壇苗等の品質向上を図るため、施肥の時期や量を的確に把握しています。自分に合った花の品種を探す、販路拡大のため幅広い年齢層で顧客を増やす等、常に消費者のニーズに応える農業経営を展開し、収益の向上に積極的かつ計画的に取り組んでいる、将来の活躍に期待する優秀な花卉農家の後継者です。

### 農業功労者表彰

井上 昭一さん

農地管理及び栽培技術の向上に積極的取り組み、常に優良品を生産



できるよう努力するとともに、狛江市農業委員会、農政、調査等各部会を歴任し永年にわたる、さまざまな立場で後継者の育成に尽力されました。

### 北多摩地区農業委員会連合会 優秀農業経営者表彰

石倉 純子さん



農地は減らさない覚悟で、一人、亡くなった夫が残したノート等を参考に四苦八苦しながら農業経営を実践してきた天晴れな女性農業経営者です。少量多品目の新鮮な農産物は直売所を主体に

年間を通して対面販売。地域住民の人望も厚く、今後の活躍が期待されています。なお、狛江市では女性農業経営者の受賞は初めてです

### ■市制施行40周年記念 表彰

狛江市政に特に功労のあった方に感謝の意を表すため、10月3日に感謝状の表彰式が挙行され、高木光雄さん、小川喜一郎さん、小川光男さんの農業委員会元委員3名が表彰されました。

### ■狛江市農業功労者 表彰

永年にわたり農業の先導者として地域農業に貢献された、荒井正さん、小川幸男さんが、11月23日に表彰されました。



### 編集後記

農業委員に任命されて今年の7月で3年が経過いたします。農地パトロールでは、各農家の皆様が貴重な農地を守るという意識が有り、きちんと営農されていることに感謝いたしました。このことは先祖伝来の土地を守っていくという、いわば先祖に対する感謝の表れと思います。都市農業に対しては、大変厳しい状況でありますがこの緑の空間を末永く守っていくことを望んでやみません。

「農業委員会だより」

を今回も何とか発行することができましたのは編集委員全員の努力と事務局の協力のおかげであり感謝申し上げます。

### ■編集委員

大久保 蕃・荒井 正

栗山義一・本橋文武

谷田部英雄

